

京 城 新 報

ずらかべく急し如がく行を道き遠でふ負を荷き重は生一の人

妄言妄評

片子八

▲統監更迭説は最良史論となり、統監政治の刷新も輿論となり、立憲政治は輿論の政治なり、立憲國に於て輿論に反して事を行はんとするは無理なり、統監政治と雖も輿論に従はざれば獨斷運用は出来ざる也と
▲世には愚論者ありて輿論は愚論なり。と云ふ者あり、斯る徒黨は未だ眞に立憲政治の妙味を知らざるもの也、輿論は公平なり專制は不公平なり、各國が果て輿論政治を採用するは之が爲なり、

▲既に善良なりと認めて立憲政治を採用したる以上は何人とも雖も輿論に従服するの義務を有す、輿論に服従せざるものは立憲政治下の民に非ず、統監府も亦立憲政治の圈内に在り、皆獨り圈外に脱することを許さんや、之れ至當の論理なり。

▲統監政治の刷新に際しては桂首相が如何なる智慧を練出すかや問題なり、苟く一國の首相として統監政治は伊藤公の領分なりとして澄ましまひ譯にも至らざるべし、責任として何ぞか解決の方案を立てざる可らず、世人も亦然切に首相の裁断を望めり。

▲帝國議會に於て桂首相は對韓政策の方針

を踏るべしと云ふ。果して如何なる方針を語らるべき乎、思ふに例に依りて流々水の如き方針なるべき乎、併し伊藤公の口より之を聞くよりも阿となく興味あがりには思はる、大頭候の答辨振りを抑も如何、

▲若し夫れ伊藤公にして風説の如く議會閉會後に辭任するどせば、桂首相の答辨にも自ら異なる所あるべし、然らば伊藤公の代辨に非ずして桂首相其人の抱負を吐くことあるやも知る可らず、興味を以て迎へるもの之が爲ならずんばわらず、

▲伊藤公辭任説事實ならば桂侯は何人を以て後任者とすんば乎、曾根田を統監に引上る乎、否と大頭候の胸中必ずしも人物と

公の對韓策とは由來相容れずと聞く、茲に於ての後任者の選擇も自ら異なる所ありむ、
▲斯く想像し退ふれば後任者の撰定にまで策を挟むも、肝腎の伊藤公にして尙ほ祖として辭任せずとすれば万事止まらん、從て統監政治の刷新も亦僅く少し噫々、
▲然れども前に述べたる如く、如何に伊藤公と雖も輿論には服從せざる可らず、殊に立憲政治家を以て標榜する伊藤公に於ては尙ほ尙る事也、斯く思へば亦多少安する所なきに非ず、
▲追及へ、希くは統監の更任を望むなり、何

となれば、新奇なる人物に非ざれば情實を盡
斷し得ざればなり、唯統監の更任のみにて
は實際の刷新は舉げ得られざるなり、部下
愚愼とも一新するに非ざれば到底局面は展
開せざるなり、革新の機は迫り、唯要す
るもの異個の適材なり、

文苑

その八

寛政庚午金剛代に、想を馳せしに聞らむありき。身は、ハヤ大阪を経て、七時半と云ふ時、神戸驛に着きぬ、コゝにて乗り合はすべく約せし、テリ、ワイ兄は如何にと、苦痛を申し、窓外に配れど、遂に空なりし。天晴れて風もなく、余は千鳥通なるものなり、猶海白砂青松の間に堪へり。路島の眺めつゝ、美威を覺ゆ。

此處縁なし松附の間、息溜たる家屋たる、ア、これ總て、何某殿の別荘にある、や、控邸にあらずや、黄金の力は、實に恐ろしきかなと思ひぬ。

天かたる自然の美を、獨り奪ひて得たかて、他を憚らざる心惜さる。大海原に汝若し意あらば、怒濤ともなり、海嘯となれよ、而して彼の建物と破壊せよ、奪い去れよ、奪ひ去りて底の義屑と化せしめ、然り彼等が眠れる眼の醒くまで。

左に波靜かなる瀬戸の内海を望み、右に起伏せる播但の高岳を仰ぐ、余は、山水を一望に盡し得て、氣も亦すげく

分、正午には未だ少し早けれど、
 として、蘆花先生の瓶牒紀行を讀み、
 間に、廣島三田尻等の各驛を過ぎ、
 留しは、日も早や全く暮れ果てし、
 八時十五分にてありき。

俳句

牛曳て戻る家路や桃の花
 仙術も知る翁らし桃の主
 桃咲くや乳放なれ牛の朝機嫌
 桃散つて重箱洗ふ流れかな
 桃咲くや氣も莫かに暮す里

桃十句 千春

(新刊) 紹介

明治評論 講義運動の氣韻雄渾せざるや、
立憲制度を模倣したるべきと大に
論議明再啟の價値あるべく、次に大臣
に於ける責任は論旨堅實、觀察透確
東京洋文學校校長大學橋四朗治評論
其の他有益にして參考となるべき記
録也。青岡には田島嘉吉氏の「南米
の利益」

●商標公報 依例商標の類別登記番號を載せ且つ作威・意匠等を掲げたるなり（二號十錢日韓書房發賣）

●水産世界 水産に關するの智識を涵養するものゝ必らず一讀すべき雜誌な魚族の減少と救済策」「潮沼研究の急務



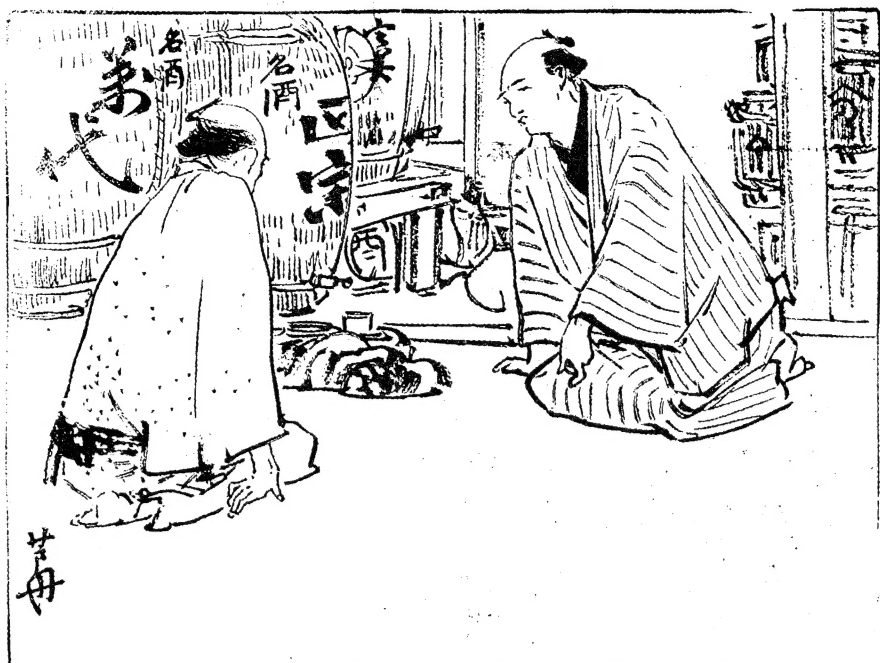
佐倉宗吾
(廿八) 眞龍齋貞水講

無房を以て
 身代を付給つて 伊勢



白子へ歸らうと云つたのが、ズツと落付おちつきいて、三年と成り、四年と成り、五年と成り、とウシ身代が出来た「アゝ有難かつたア」伊勢の白子へ歸らなくつても濟まなかつた。安心して居るゝ宮師の三五郎が、二兩貸してくれろ、二兩貸してくれろと、三三に掲げず披ひりに来る。こちつ

困つたと思つたか、以前の土掛の一件が
 なるから、ハイ／＼と云つて、毎時を貸し
 やると、或る一日の事。三御女さまは
 スリや三さん御光來なさ。三濟さねぬ
 年末の仕込をするから、三十兩貸して貰
 へ。貸せば宜かつたが、八間で奴は終



位してゐるんだから貸せと云ふんだ。白馬
 靜かにしてゐた。三靜かには出来ね
 ば、大きな聲は地聲だ。三五郎が大きな聲
 を發つて叱罵しましたのが、其道の御手筋
 の耳へ入つて、忽ちの間に三五郎と酒屋の
 亭生の重太郎が怒られ、樹を取上げて闘べ
 る。見ると底が上つて居つた、到ちての二人
 は、市中で兇賊の上、鈴ヶ森で鷹利に成り
 ました。是は、是は繁昌した店ですが、入所に

されて仕舞ひました、斯ういふ名代の話でございまして、其餘が福井と謂ふ飯屋に成て長く居りまして、爾う云ふ風に、樹の寸煙だの、底上など云ふ事は、容易きならぬ大罪でございまして、それだから米屋や何かで樹目を盗むと、其家の主人は、眼が潰れるとか、俵の代に兵代が滅亡するとか謂つたものであります、今日は秋の御年首御上納米と云ふので、川喜多一宅では、悉く準備を整へ、儀兵衛は羽織袴でございまして、追々出張いたしましたのが、城代堀田玄春、故尾越後、阪上座太、村岡善藏などで、スツと座列にゐる所へ、三十六個村の大名の取締を致して居りますので、龍崎村の主人

右衛門、俵六之助、その他一同すつと出席する、此方は上納米ですから、俵六の腰に杉形に繋ぐ、袴腰に膝上げてある、其席へ一同の名主が両手を突くと、城代玄蕃が此時に飯上庫太と對ひ、玄「同まかり出でたる名主共へ、早う申し渡せ、庫「ハ、ハ、ハ、ハ」」と一同の名主に向ひ、庫「瀧澤村六郎右衛門はじめの致し、三十六個村の役人共へ申し遣はす」と云ふのは、名主だから村役人でありませう、名主「ハ、ハ、ハ、ハ」

[illegible]

錢

金 四 錢



廣江商會
電話五七六番

辯護士

岡田 榮

電話架設
五貳番

五貳番

會社 十八銀行
京城支店

三和十八銀行
京城支店

京城居留民團立
高等女學校

居留民團立
等女學校

明治四十二年度ニ於テ本校第
二年及第三學年ニ各

募集公告

五年四月 明治三十六年四月
 始期ニ達スベキニ付該兒童ノ保護者ハ二

明治三十六年四月一日
兒童ハ來ル四月一日
ニ付該兒童ノ保護者ハ三

大なる獲物

過去八年間北米大共和国の元首として卓出せる手紙を撰ばれた近代の偉人ルーズベルト氏は其任期を完了して今やオースターベアの閑地に静養しつつあり、而して其席を未だ離れざるに於て宣言せられたる亞弗利加森林の大狩獵を決定する爲に近々征途に上らるべしと云ふ、何ぞ其獲物の力に旺盛なるや、或る醫學博士の如きはル氏に於て亞弗利加森林の獵地に入らば風土病の爲に生還は期し難しと云へり、凡常の人ならば此專門家の注意に依り躊躇すべきも然るが如き活潑な有るル氏は何ぞ此等の言に顧慮せんや、余輩も亦此偉人の勇氣に對しては如何なる獵獵癡癡を敬する能はずするものなり、

東拓理事辭職

東拓理事會理事、韓相龍氏は字佐川、總務部部長、昨午、理事會に於て、辭職を提出し、

韓太子の歸京

韓太子は十五日東京に歸るべし、小田原に遊幸中なる韓太子は十五日東京に歸るべし、

損害原案可決

損害原案可決、昨午、理事會に於て、損害原案を可決し、

關稅率委員會

關稅率委員會、昨午、理事會に於て、關稅率委員會を組織し、

製造時機

製造時機、昨午、理事會に於て、製造時機を決定し、

民團長民選案

民團長民選案、昨午、理事會に於て、民團長民選案を決定し、

東拓理事會

東拓理事會、昨午、理事會に於て、東拓理事會を組織し、

衛生試驗の事業

衛生試驗の事業、昨午、理事會に於て、衛生試驗の事業を決定し、

漁業經營の邦人

漁業經營の邦人、昨午、理事會に於て、漁業經營の邦人を決定し、

外國貿易旬報

外國貿易旬報、昨午、理事會に於て、外國貿易旬報を決定し、

本埠貿易額の港別

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、

本埠貿易額の港別、昨午、理事會に於て、本埠貿易額の港別を決定し、



酒井政平の破綻(十八)

●悲むべき居留地の問題
●中村再進氏の被告事件真相

市原盛宏(市原盛宏)の負債整理

●市原盛宏(市原盛宏)の負債整理
●市原盛宏(市原盛宏)の負債整理

案を作ったことあるか

●案を作ったことあるか
●案を作ったことあるか

絶対服従

●絶対服従
●絶対服従

絶対服従

●絶対服従
●絶対服従

中村の調印したるは此れ

●中村の調印したるは此れ
●中村の調印したるは此れ

中村の調印したるは此れ

●中村の調印したるは此れ
●中村の調印したるは此れ

中村の調印したるは此れ

●中村の調印したるは此れ
●中村の調印したるは此れ

中村の調印したるは此れ

●中村の調印したるは此れ
●中村の調印したるは此れ

確かな紛失

●確かな紛失
●確かな紛失

中村の調印

●中村の調印
●中村の調印

不承諾

●不承諾
●不承諾

承諾

●承諾
●承諾

承諾

●承諾
●承諾

承諾

●承諾
●承諾

承諾

●承諾
●承諾

承諾

●承諾
●承諾

承諾

●承諾
●承諾

承諾

●承諾
●承諾

承諾

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

●拘模朝鮮出稼
●拘模朝鮮出稼

拘模朝鮮出稼

京城龍山

録

豫約募集

京城理事廳認可

本紳士録には京城龍山在住の日韓清英米佛獨其他紳士の全体を網羅す

行所 本町二丁目 新王城前 北署安洞 中署廣橋東邊 中署龍橋越邊

所込申約豫發 行所 本町二丁目 新王城前 北署安洞 中署廣橋東邊 中署龍橋越邊

一全州政府倉庫新築

建築所

右四月二日入札(附詳細)十五日以後、官報又ハ當所及全州府署官報局ノ掲示ヲ見、但書、保證金共送附ノ事

釜山税關煉瓦倉庫

建築所

右四月二日入札(附詳細)十五日以後、官報又ハ當所及釜山府署官報局ノ掲示ヲ見、但書、保證金共送附ノ事

善隣商業學校

夜學專修科募集

●科目 國語 英語 算術 地理 簿記 商業 法制經濟

大阪日報

大成社

●初版 約五十名 ●出版期 四月六日限 ●明治町一丁目

新德無烟煉炭
●特色
●用途
●省煤炭所東隣

▲無料紹介欄▲

求職者 友人二十才普通教育あり
求職者 友人二十才普通教育あり

女中入用 但十六七歳位
女中入用 但十六七歳位

被雇者 七歳位
被雇者 七歳位

物件 但十六七歳位
物件 但十六七歳位

貸家 但十六七歳位
貸家 但十六七歳位

貸地 但十六七歳位
貸地 但十六七歳位

ウアイオリン講習
ウアイオリン講習

漢城病院 辭シ京城
漢城病院 辭シ京城

外科 小兒科
外科 小兒科

森田醫院
森田醫院

九州セメント
九州セメント

山村商店
山村商店



美術書畫
襖壁天井張
桂萬吉

石炭直輸入卸小賣

精製塊炭 上等塊炭
精製塊炭 上等塊炭

荒塊炭 切込炭
荒塊炭 切込炭

弊店の石炭は自己炭礦より
弊店の石炭は自己炭礦より

目下多量之貯炭有之候間
目下多量之貯炭有之候間

奉願候
奉願候

赤阪口福母炭坑炭部
赤阪口福母炭坑炭部

合名 大阪商會韓國代理店
合名 大阪商會韓國代理店

大阪鐵工所韓國代理店
大阪鐵工所韓國代理店

行の變形靴
行の變形靴

金四円八十錢
金四円八十錢

米東災災保險會社
米東災災保險會社



仁川宅支店
仁川宅支店

辯護士 岩田仙宗
辯護士 岩田仙宗

清潔の下宿
清潔の下宿

客室の清潔と調理の美味
客室の清潔と調理の美味

御膳中上候
御膳中上候

富士見樓
富士見樓

氣候變化
氣候變化

牛乳 純良消毒
牛乳 純良消毒

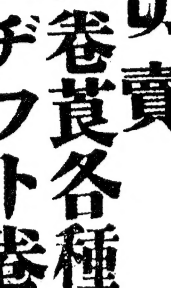
京城曙町電話六四番
京城曙町電話六四番

宮内府所用
宮内府所用

石川表具店
石川表具店

大見切賣
大見切賣

金口卷莖各種
金口卷莖各種



破天荒の大安賣出し
破天荒の大安賣出し

時下餘貨尚難獲の候四方
時下餘貨尚難獲の候四方

御清榮奉賀候御店儀御座を以て
御清榮奉賀候御店儀御座を以て

謝候就ては平素の御愛顧に酬へん
謝候就ては平素の御愛顧に酬へん

爲め本日より向ふ一ヶ月間
爲め本日より向ふ一ヶ月間

限り正札より貳割引の
限り正札より貳割引の

廉價を以て販賣仕候間何卒御請求
廉價を以て販賣仕候間何卒御請求

明治四十二年三月一日
明治四十二年三月一日

京城本町理事部
京城本町理事部

同 第一支店
同 第一支店

同 第二支店
同 第二支店

同 第一支店
同 第一支店

同 第二支店
同 第二支店

伊藤組
伊藤組

銀行 一般の業務精々
銀行 一般の業務精々

日本郵船會社
日本郵船會社

汽船出帆廣告
汽船出帆廣告

仁川海運 郡 回 濱 店
仁川海運 郡 回 濱 店

大連行船客御請
大連行船客御請

新調丸
新調丸

山田丸
山田丸

大連丸
大連丸

立神丸
立神丸

立神丸
立神丸

立神丸
立神丸

立神丸
立神丸